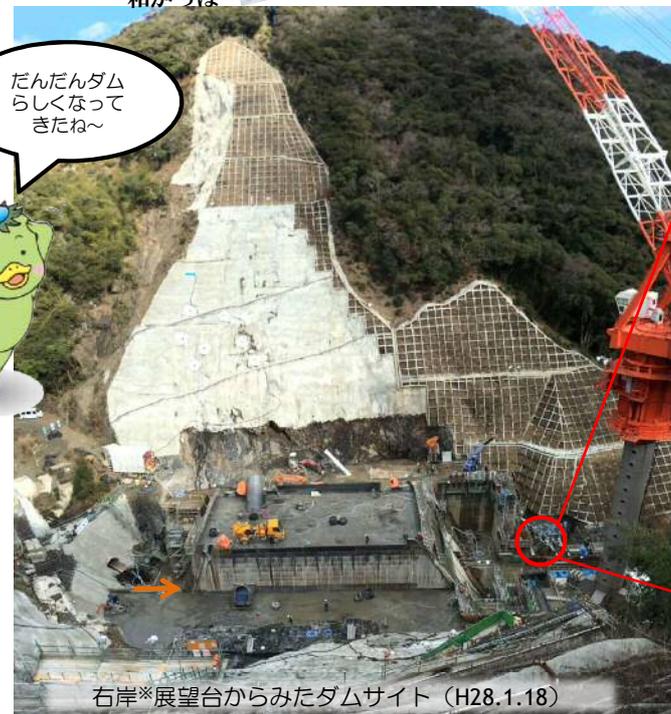




工
事
情
報

わかっぴ

放流バルブ室 設備据付工事開始 コンクリート打設 進捗率22% (1月末時点)



右岸*展望台からみたダムサイト (H28.1.18)



放流バルブの設備

※河川を上流から下流に向かって眺めたとき、右側を右岸、左側を左岸と呼ぶ(川の流れる方向 →)

だんだんダム
らしくなって
きたね~

和食ダム本体建設工事では、引き続き堤体コンクリートの打設を中心に施工が進められています。1月末時点におけるコンクリート打設の進捗率はおよそ22% (全コンクリート体積64千m³に対して14千m³打設完了) となっています。

昨年12月中旬には、堤体左岸側に計画されている放流バルブ室の設備据付工事を開始しました。放流バルブ室では、ゲートバルブによる開閉を行い、ダムに貯留した水を農業・水道用水及び河川維持用水として放流します。今後は、バルブ室建屋の建築工事などが順次行われる予定です。

「よかッパロード」現地見学会を開催

官民連携による遊歩道の計画づくりが進む



見学会の様子



集合写真 (坂本龍馬の語録の石碑にて)

芸西村の新しい自然体験型観光の一つとして、和食ダム周辺に遊歩道を整備する「よかッパロード」の計画づくりが、官民連携により進められています。昨年の12月17日には、遊歩道が計画されているコースを実際に歩き、よかッパロードの整備イメージを共有する「現地見学会」が開催されました。見学会では、和食ダム周辺部や熊ノ倉城跡、考える村の語録の石碑などを確認。今後の計画づくりに向けて、現場のイメージを共有することができました。



1月30日(土) 和食ダム定礎式

ていそ

ダムの永久堅固と安泰を祈願

1月30日(土)、和食ダムでは定礎式が行われます。定礎式とはダムの本格的な築造に際し、清められた礎石をダム本体に納め、ダムの永久堅固と安泰を祈願する行事です(下イメージ写真参照)。

式典当日は尾崎高知県知事や竹内芸西村長をはじめ、国、県、村、地域住民の方々、工事関係者などが出席する予定となっています。



礎石搬入



齋槌の儀



埋納の儀

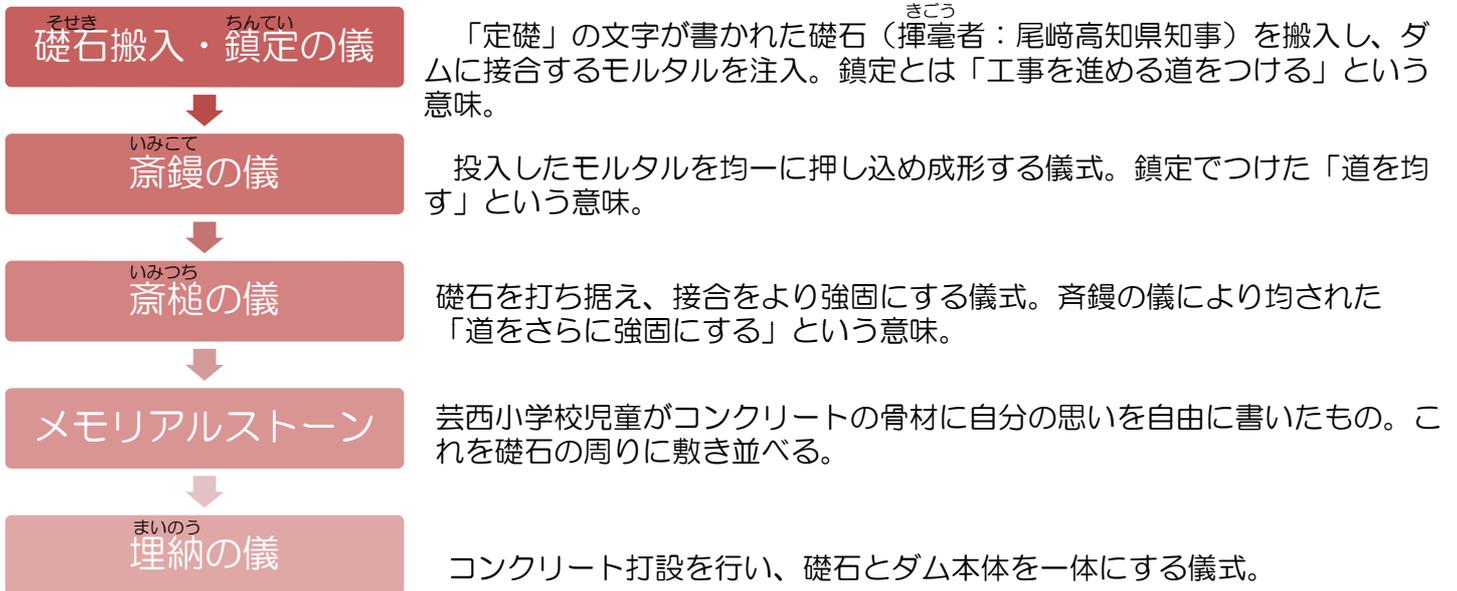


メモリアルストーン

定礎式イメージ
(福岡県伊良原ダム建設事務所HPより)

定礎式イメージ
(ダム技術センター
ダムニュースNo326より)

定礎式の流れ



芸西村の史跡紹介【第2弾】

よかッパロードのコースにある「瓜生谷仁井田神社」

《瓜生谷仁井田神社》

瓜生谷仁井田神社は瓜生谷の北の端に位置し、慶長15年(1610)に創立されました。瓜生谷地区の氏神様として祭られ、長船久能姫、長船豊長姫が祭神として祭られています。



瓜生谷仁井田神社

仁井田神社には樹齢幾百年ともわからないスタ椎の古木があり、神社の歴史を象徴しています。「よかッパロード」計画においては、熊ノ倉城跡などにつながる史跡コースの一部として検討がなされています。

次回は「馬ノ上古墳」です!



コラムよ

暖冬の影響?

ダムの東の山のツツジが咲いています



ダムサイト

ツツジの場所

瓜生谷地区からみた「ツツジの場所」



H28.1.19撮影

昨年3月のダム便り第6号でご紹介したダムの東の山のツツジが暖冬の影響からか1月に咲いています。

他の地域でも季節外れのツツジが咲いて話題になっている所があるようです。



H28.1.19撮影